

# 日本大学第三学園生徒支援会レター 第6号

2011年12月24日発行  
発行:生徒支援会役員会

## 「生徒支援会」2年目を迎えて

昨年度新たに発足した生徒支援会ですが、1 からの出発のために、昨年度の活動は生徒支援会の広報に時間をかける結果となりました。生徒支援会については、生徒支援会レターの創刊号、第2号、定期総会号等で、周知を図りました。

来年1月中旬に立ち上がる生徒支援会サイトに、過去のレターと会則をアップいたします。生徒支援会の仕組みや活動がお分かりにならない方は是非一度ご覧ください。

昨年度、役員会等で話し合われた事柄のうち、実現できたものはアンケートの実施と報告、「校長を囲む会」の実施、会則の改正等数えるほどでしたが、生徒支援会の礎を築く事が出来ました。

2年目に入り、1年目の実績に基づいて活動をしています。入校証、兄弟・姉妹・双子等で重複している会費の返金、懇親会(茶話会)等の実施、ホームページの開設等、昨年度話し合われた事が実現しています。役員会も、昨年度は必要に応じての不定期の開催でしたが、今年度は年度はじめに1年間の開催日を決めての開催が来ています。

これからの活動にご期待下さい。また、生徒支援会に対するご意見、要望は組担任を通じてお寄せ下さい。生徒支援会の活動をよりよくするための建設的な意見をお待ちしています。また、クラス幹事をしていただくことにより、より一層生徒支援会を身近に感じていただく事も出来ますのでよろしくお祈りします。



## 今年度から「学校担当」が新たに発足しました

今年度の幹事は、会則の改正で、各クラス2名以内の選出となりました。増員されたことにより、昨年度の委員会活動の他に、「学校担当」を設けて活動することを、第1回幹事会にて了承していただきました。

二学期に入り、さっそく活動に入りました。中学一年、三年は食堂で学年全体の懇親会、中学二年はクラスごとの懇親会、高校一年は食堂で、高校二年は講堂で、それぞれ進路に関する講演会を開催しました。

詳しくは、次ページ以降に各学年の担当者よりの報告が掲載されていますのでご覧ください。

なお、高校三年につきましては、懇親会、講演会等は実施せず、卒業式で卒業生一人ひとりに対してコサージュを胸に着けてもらうよう計画を進めております。

学年・クラスによって、幹事の選出が遅れて、活動の徹底が不十分だった面がありましたが、次年度より幹事の選出は、学年当初の保護者会にて決定していくよう役員会で話し合われています。ご協力をお願いいたします。

## 「学校担当」報告

- 中学一年…学年懇親会 9月10日(土)14:00～17:00(食堂、158名参加)  
中学二年…学級懇親会 11月2日(水)保護者会終了後(各学級、各組20名程参加)  
中学三年…学年懇親会 11月2日(水)13:30～14:30(食堂、164名参加)  
高校一年…学年講演会 11月19日(土)14:00～16:00(食堂、149名参加)  
高校二年…学年講演会 11月19日(土)14:00～16:00(講堂、253名参加)

## ～中学1年クラス合同懇親会開催保護者間の交流をはかる～

9月10日、クラス幹事学校担当は、本校食堂において「クラス合同保護者懇親会」を開催。当日は、残暑厳しい中にも関わらず158人が参加しました。

開会にあたり堀内学校長をはじめ、加藤支援会会長、塩沢先生、新井高校教頭(支援会理事)も参加をいただき、堀内校長からは「このようなクラスをこえた学年合同の懇親の場は今まで実施していなかった。今回の開催は今後の支援会活動や学校運営にも大いに重要である」とあいさつされ、加藤会長からは「子供の通う学校について関心をもっといただき、是非学校を好きになって欲しい」とあいさつをされました。



約2時間の限られた時間でしたが、食堂スタッフの手作りのお弁当をいただきながら受験期間中の体験談や入学後の学習や部活動について等会話が弾み、和気あいあい活気溢れる楽しい交流の場となりました。さらに、部活動ごとにわかれて保護者が集まりお互いの連絡先等の交換もできました。「入学以来知り合いがなくて心細かったが解消できた。とても有意義な時間となった」等の声をいただき、今後の活動への第1歩を踏み出すことが出来ました。機会を捉えニーズにあった活動に取り組んでいきたいと思えます。

## 『中学2年クラス懇親会を開きました』

中学2年は、11月2日の保護者会の後、各クラス20名前後の保護者のみなさまに参加をいただき各教室でクラス懇親会を開きました。

懇親会は、親睦を深めるために自己紹介からスタートし、部活動・バスの方面・我が子の長所などを和やかに話してもらいました。みなさまの色々なお話を伺いながら普段忘れがちになっていた我が子の長所なども改めて思い起こすきっかけにもなりました。

また、その他次のような事柄が話題に上ったクラスもありました。

- ①懇親会の回数を年に一度ではなく増やしてもらえれば、みなさんの顔が覚えられる
- ②自転車通学者、車道通行への不安
- ③部活後のバス本数を増便
- ④緊急連絡網にメール配信を導入 etc.

今後の懇親会のあり方についてもご意見を伺いました。クラス単位での開催を望まれる方が多数を占められました。中には、先生の同席を望まれる方や子ども同伴を望まれる方もいました。形式については、学内外を問わず茶話会のような時間をもちたいというご意見も多数いただきました。

今回は保護者会後の短い時間でしたが、このような懇親会を重ねながら、みなさんとのコミュニケーションを深められたと思います。

是非名札の活用をしていただいて、お名前呼びあえる仲になれるといいですね。

## 「中学3年保護者合同懇親会を開いて」

生徒支援会の大きな役割でもある保護者間のコミュニケーションをはかるために、11月2日(水)に中学3年生保護者は午後1時30分から学校食堂をお借りして初めて合同懇親会を開催いたしました。平日にもかかわらず、164名参加していただき、食堂手作りのお弁当を食べながら楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

開会にあたり、櫻井理事長をはじめ、堀内学校長、加藤支援会会長、塩沢先生(理事)、新井高校教頭(理事)のご出席を賜りました。櫻井理事長から「日大三の生徒は礼儀正しく素直です。学業だけでなく運動や芸術に情熱を持って打ち込むことが出来る学園にするために、今後とも保護者のご理解とご協力をお願いしたい」とご挨拶がありました。つづいて、堀内学校長から「学校と保護者が協力してより良い教育環境を作る為に、コミュニケーションを大切にしていきたい」とお言葉がありました。加藤会長からは「このような懇親会が開かれるのは初めてなので、保護者同士の交流の場にして欲しい」とあいさつがありました。

和やかな雰囲気の中、ボリューム満点のお弁当を頂きながらクラスの様子や部活の情報交換で盛り上がりました。多くの保護者が名札着用していたお陰で、親しみやすく普段聞けない学校の様子などをお話しました。話題の多くが学業と部活の両立の事でしたが、中には修学旅行の持ち物を話しているお母様もいらっしゃいました。

今後も機会を設け、コミュニケーション向上にむけて活動してまいりますので、みなさまのご協力をお願いいたします。



## 高校1年クラス合同懇親会

開催日時:11月19日(土)  
14:00 開会

開催場所:食堂

参加人数:149名(担任7名含む)

参加会費:700円

### ●タイムスケジュール

12:40~会場設営

13:45~受付開始

14:00~第一部開始

リクルート講師による講演  
『失敗しない文理選択』

15:00~第二部開始

各クラス茶話会

16:00 閉会」



(株)リクルート丹波秀和様に文理選択だけではなく大学選びや進学費用、そして高校生でやるべきことなど、ご自身の実体験も交えながらお話し頂きました。



茶話会の様子→

短い時間ではありましたが、担任の先生が参加できたクラスもあり、学校での様子を含めて親同士の交流が少し出来たのではないのでしょうか。



参加費を集めさせていただき、ケーキ(今回はタルト)やお茶菓子を準備させていただきました。

## 生徒支援会企画「高2 保護者対象『大学受験講演会』」を終えて

11月19日(土)、生徒支援会高校2年生担当企画による『保護者対象「大学受験講演会」』がベネッセ大学受験担当者をお迎えし、本校講堂において行われました。本校においてこのような講演会を行うのは初めての試みでした。

当日は、嵐のようななどしゃ降りの中253名と多くの方の参加をいただき、ベネッセ片山俊氏より「大学受験の現状と心構え」、本校副校長高瀬英久先生より「三高における大学合格までの流れ」をテーマに講演が行われました。

「大学受験の現状」では近年の入試実態や入試方式の変化、入試で重要視される科目は？といった具体的な内容を、資料を基にお話しいただきました。「三高における流れ」では推薦入試・一般入試制度概略図を基に日本大学への統一テストからの流れや他大学への推薦入試、センター試験利用入試等の説明もしていただきました。当日はお父様の参加も多く、一年後に迫った受験への関心の高さがうかがわれました。

お帰り際には、「複雑な受験システムをわかりやすく解説していただき参考になった」「付属校で外部予備校の話が伺えるのはありがたい」といった声をいただきました。

高校2年生徒支援会では、初の企画として親同士の交流や親睦を図る企画も検討しましたが、この時期に一番必要なものと今回の企画を計画いたしました。

### 「委員会」報告

今年の三覺祭は、昨年と同様にリサイクル委員会とイベント委員会が参加しました。両委員会が使用できる教室が、昨年と同じように1教室ということで、半分に仕切ってそれぞれ使用しました。

## コミュニケーション委員会活動報告

コミュニケーション委員会では、支援会ホームページ開設を目標に活動してきました。

ホームページの役割は、学校の情報を保護者の皆様にお知らせする事だと思えます。現状では、学校から配布されたお手紙が、保護者の皆様の所に届いていない事が多い様です。ホームページに載せる事により、保護者自身で情報を確認する事も可能になり、より多くの情報をお知らせする事が出来るのではないかと思います。

内容は、支援会の概要、支援会レター・アンケート報告・収支決算報告等の資料、学校行事のご案内や支援会行事のご案内及び開催報告等を予定しています。特に支援会の各委員会の活動については、こまめに情報を発信していきたいと思えます。

1月には、支援会ホームページを開設する予定です。保護者の皆様に学校や支援会についてのご理解を、より深めて頂ける様なホームページを目指しています。是非、ご覧頂ければ幸いです。

また、新規事業の検討もしていきたいと思えます。先日、試験的に委員会内だけで、プリザーブドフラワーの講習会を行いました。ワイワイと楽しくお話ししながら、とても素敵な作品が出来上がりました。このような行事を通じて、保護者間の交流を図る活動や、より強力な生徒支援が出来る様に、学校と保護者の連携を強化していく活動を、今後の委員会で考えていきたいと思えます。

## リサイクル委員会活動報告

リサイクル委員会では三覺祭にて制服等のリサイクル品販売を行いました。

今年は1日のみの販売だった為不安もありましたが、リサイクル品はほぼ完売し延べ173名の保護者の皆様に御来場頂き盛況のうちに終えることができました。

当日は保護者の方から「成長の早い子どもたちの為にこのような販売会はとても助かります」との声も多く聞かれ委員一同リサイクル販売の必要性を再認識した1日でした。

今後も状態の良いリサイクル品の提供を心掛け委員一同活動していきたいと思っておりますので、リサイクル品の御寄付の御協力をお願い致します。

リサイクル品の回収方法は各行事の折にお手紙でお知らせ致しております。また卒業後の御寄付の場合は日本大学第三学園生徒支援会宛に御郵送又は御持参下さい。

なお御郵送の場合の送料は各自御負担頂きますようお願い致します。(文責 委員長 玉井)

## イベント委員会活動報告

### イベント委員会ってこんな委員会！

今年度はどんなイベントを開こう？！話し合いの結果、昨年の三覺祭で大盛況だったパン団子の販売に決定！

「SANKO丸」と名付け三覺祭でパン団子の販売を行いました



三覺祭で  
パン団子の販売

昨年以上に大盛況  
・パン400個  
・団子600パックは  
午後イチに、完売

**大成功!!**

役割分担を決め、模擬店出店に向け活動！



イベント委員として活動してみて...

学年、中学高校の枠を超え  
たくさんの友達  
が出来ました!!

正直...仕入れ等の準備は結構大変でした。しかし終わってみればとにかく楽しかった!!

## 第一体育館解体工事が始まりました

10月から準備を始め、11月にそれぞれの施設へ引っ越し、生徒たちの協力もあり工事は順調に進んでいます。今、第一体育館、武道館、更衣室棟の内部の壁や床の撤去が終わり、いよいよ外壁の撤去が始まりました。年内に第一体育館の撤去、年が明けて武道館、更衣室棟の順に撤去されます。プールはグラウンドへの散水利用のため最後の撤去になります。

再来年の1月には新しい総合体育館そしてプールがお披露目できる予定です。



## 「父母の会第8支部」の活動

東京には187校の私立中学校と237校の私立高等学校があります。そのうち、中学校のみの学校は6校、高等学校のみの学校は62校、残りは中学校と高等学校の併設校です。

これらの学校は全て「東京私立中学高等学校協会(東京私立中高協会と略されます)」に属しています。そして12の支部に分かれていて、本校は第8支部に所属しています。第8支部は世田谷区と目黒区の一部、町田市の一部の32校の学校が所属していて、一番所帯の大きい支部です。

そして、中高協会とともに活動しているのが、「東京都私立中学高等学校父母の会中央連合会」です。この父母の会も学校とともに12の支部に分かれています。父母の会の名称は支部ごとに少し違いがありますが、本校の父母の会は「東京都私立中学高等学校父母の会第8支部連合会」という名称になっています。各学校から評議員3名、理事3名の計6名の代表が出て活動しています。

今年度、本校は副支部長校という立場です。ちなみに支部長校は駒澤大学高等学校で、支部長校から父母の会会長が、副支部長校から副会長が選出されています。

父母の会の活動の柱は、私学振興に関する活動で、公立学校との学費の格差を埋めるための活動です。国や東京都に働きかけて、出来得る限りの公費助成をお願いして、公私間格差を解消する活動をしています。

今年度の今までの第8支部の活動は、次の通りです。(☆印は父母の会役員のみ参加です)

- 6月11日(土)14:30~15:30 総会(駒澤大学高等学校新館地下ホール)☆
- 7月9日(土)14:00~15:30 研修会(駒澤大学高等学校新館地下ホール)☆
- 10月22日(土)14:00~15:15 私学振興拡充支部大会(駒澤大学記念講堂)
- 11月22日(火)14:00~15:15 私学振興予算要望期成大会(共立講堂)☆
- 12月2日(金)14:00~15:30 私学振興全国大会(日比谷公会堂)☆

この活動により、毎年多くの助成金を獲得していますが、残念ながら、公立高校の授業料無償化(私立高校は就学支援金支給)に伴い、公私間格差はますます拡大する状況になっています。

来年度も、10月の後半の土曜日に「私学振興拡充支部大会」が開催されますが、今年同様多くの方に参加していただき、都議会議員の先生方に予算獲得のアピールをしていただくと考えております。来年度当初に参加していただける方を募集しますので、ご協力お願いいたします。

## 編集後記

二学期も終業式を迎えました。今年は、昨年度の生徒支援会の役員会を引き継ぎ、役員会やご父母の皆様の念願であった、様々な事のうち幾つかの事が実現に向かって進みました。

一つは、懇親会・講演会の実施です。昨年度の役員が「是非茶話会を実現させたい」と話してきていましたが、幹事の増員で高校三年を除いて今年度、茶話会・講演会の形で実現出来ました。二つ目は、支援会(学校)と保護者の方々とを結ぶパイプとしてのホームページの開設です。まだ準備段階ですが、1月中旬までには開設出来る運びになりました。皆様のご意見を伺いながらより良いものにしていく考えですのでよろしく願いいたします。三つ目は重複していただいている家庭への会費の返金です(1月になりお詫びいたします)。

第6号は今学期の学校担当の活動と委員会活動を中心に掲載させていただきました。このレターは今後、増刊号を除いて各学期に1号ずつ発行していく予定です。よろしく願いいたします。